

実社会対応プログラム(公募型研究テーマ)

- ◆課題(研究領域):「共生社会実現をめざす地域社会及び専門家の内発的活動を強化するための学術的実践」
- ◆研究テーマ:「ケアと支え合いの文化を地域コミュニティの内部から育てる臨床哲学の試み」

研究期間:H25.10~H27.9
委託費総額:9,986千円

<研究代表者>

浜渦辰二:大阪大学大学院文学研究科/教授



<専門分野>

倫理学・臨床哲学

<Webページ>

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/clph/index.html>

<研究目的・概要>

常時の生活に積極的に関与する実践的な研究手法とスタイルを確立する必要



ケアと支え合いの文化を地域コミュニティの内部から育てる

「ネットワーク型」と「実践プログラム型」の二つの研究を通して、相互補完的に展開する。



社会の痛苦の現場と学術研究の叡智の現場とを恒常的に結ぶ、そんな臨床的学術研究のしくみが確実に本国に定着することを求める。

<研究計画の特徴>

- 研究1:ネットワーク型研究
ケアに関する研究を医療・看護・介護の専門職の実務者や一般市民と繋ぎながら、地域ケアを構想し向上させる実践的共同研究を遂行する。
- 研究2:実践プログラム型研究
「セルフケアのケア」の実践としての哲学対話・哲学相談(コンサルテーション)を、医療・福祉・教育などの現場で横断的に活用するため、国内外の実践例も調査しながら、基礎理論と実践手法を確立する。

<目標とする研究成果>

研究1:

地域ケアに関して教員と院生が行う研究を、医療・看護・介護の専門職の実務者や一般市民の関心と繋ぐことによって、大学での研究を学外の実務者・一般市民に開放し、従来の学問研究のありかたを実社会対応型に変えて行くことが期待できる。

研究2:

地域での医療・福祉・教育現場に研究者と実践者とが一体となって取り組む臨床型プログラムを導入し、その成果を検証する。